



# 【腸 FOLFIRI+RAM療法について】 (フルオロウラシル+レボホリナート+イリノテカン+サイラムザ)



様



コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
			グラニセトン注 デキサート注 ブスコパン注 ポララミン注	吐き気止めとアレルギー様症状を抑える薬です	30分	☺														☺												
デカドロン錠	吐き気止めです	内服		☺	☺														☺	☺												☺
サイラムザ注(8mg/kg)	抗がん剤です	60分	☺															☺														☺
イリノテカン注(150mg/m <sup>2</sup> )	抗がん剤です	90分	☺															☺														☺
レボホリナート注(200mg/m <sup>2</sup> )	5-FUの効果を強める薬です	2時間	☺															☺														☺
フルオロウラシル注(400mg/m <sup>2</sup> )	抗がん剤です	約5分	☺															☺														☺
フルオロウラシル注(持続)(2400mg/m <sup>2</sup> )	抗がん剤です	46時間	←☺→															←☺→														←☺→

この週はお休みです。

この週はお休みです。

イリノテカンとレボホリナートは同時に投与します



## 治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目			
自覚症状	食欲不振・吐き気																																
	口内炎																																
	下痢																																
	色素沈着																																
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																																
検査値	白血球減少																																
	赤血球減少(貧血)																																
	血小板減少																																

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇 ●出血(鼻血など) ●タンパク尿 ●胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ●傷の治りが遅い
- 血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。  
本資料は参考としてお使いください。



- \* 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- \* 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- \* それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- \* 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

国家公務員共済組合連合会  
大手前病院